

磐石 舟

いわふね

広報 第 117 号

平成 22年 12月 15 日

発行 広報編集委員会



始まりは元禄か

花を見るなら岩船の諸上寺、「梅に桜につつじに椿、咲いて絡まる藤の花」とまで歌われた諸上寺。その諸上寺山の裏山には、西国三十三所の三十三体観世音が有る。

京都で刷毛の製作秘伝を修得し一生の仕事として誓を立てた証にも、四国に渡り三十三観音に手を合せ、その思いを残すべく、三十三所から一握りの砂と、観世音の一体く、の方位を記録に止め、帰郷した一人の町人、元禄時代の出来事として何代も伝承されて来た。

信者同胞を募り、持ち帰った土を台座に安置し、方角を定め三十三観音の建立したのが始まりと、今から三〇〇年も前の事。その過程には様々天変地変も有、自然に崩れ掛けて土中に埋もれたり、消滅的物体化してしまった。時は過ぎ諸上寺十一世月峯和尚様時代発掘を始め三十三体共発見され当時としては盛大なる山開を行った。諸上寺より観世音地までの道は険しくその工程は檀徒及三日市若連中の奉仕労役により見事竣工全町上げての盛儀で巡礼姿で御詠歌を高らかに唱へ住職鈴木鉄應師が末寺住職を従い上道し終って本堂でお齊の接待があったと言。

岩船町全町は常日御詠歌の練習で賑わっていた。安置の諸上寺は眺望絶景、自然の公園で今後参拝がてらに登山する人が多かるうと当時の新聞「村上新報」に載っていた。

西国三十三所の「土の持ち帰り主」の話などは又当紙で!!

文化・芸術の祭典

岩船地区
文化祭
開催
11月3日

岩船小学校

文化の日である11月3日、岩船小学校の体育館を会場に、恒例となりました地区文化祭が開催されました。今年も小学校の展覧会と同時開催ということもあって、子どもから大人まで約1200名の来場者がありました。

一般作品の展示や各団体からの出展、試食・販売コーナーもあれば、生け花の体験コーナーもあり、会場は文化・芸術のオンラインパレードといった状態。たくさんの方々が会場は常に賑わっていました。

今回の特別展は、「三十三所観世音菩薩」をテーマに諸上寺山の模型や観音様の写真がズラリと展示され、皆さんマジマジとご覧になっていました。

ご出展いただきました皆様及び各団体の皆様、そしてご協力いただきました関係者や地区の皆様のおかげで大盛況のうちに幕を閉じることができました。誠にありがとうございました。

